



## 市町村のまちづくり

# かみす防災アリーナ 「もしも」と「いつも」を両立させるコミュニティ空間

—茨城県内市町村初のPFI事業による整備事業—

神栖市教育委員会文化スポーツ課 課長補佐 西 廣 純 一  
神栖市教育委員会文化スポーツ課 係 長 木 村 正 朋

### ■はじめに

かみす防災アリーナが立地する神栖中央公園一帯は、以前は旧建設省の土木研究所があった場所で、約30年あまり未利用地になっていた。その後、平成17年の市政施行に伴い当市のシンボルとなる場所として「総合計画」や「新市建設計画」において「新広域都市拠点」と位置づけられ、土地利用計画を「防災公園」と定めたことにより、平成21年に国有地の払い下げが実現。この場所を災害時には、市民の安全・安心を提供する防災拠点として、また、平常時には、憩いや賑わいを創出する場として「かみす防災アリーナ」を整備した。



南東側上空から見た建物全景と神栖中央公園



西側から見た正面外観

### ■「もしも」のときも「いつも」のところへ

かみす防災アリーナは、「いつも（平常時）」はスポーツ・文化の活動を通して市民が集い「もしも（災害時）」のときは1万人の収容が可能な大規模避難施設となる。平常時の賑わいが災害時の助け合いにつながるように空間や仕組みづくりを行った。



館内の様子

### ■施設の活用事例

令和元年6月の供用開始以降、「開館イベント」を皮切りに各競技のトップリーグにあたる「Fリーグ（男子フットサル）」、「Bリーグ（男子プロバスケットボール）」、「Tリーグ（卓球）」の公式戦を開催、さらに令和2年4月には、大相撲巡業神栖場所の会場として利用される予定である。また、防災拠点施設としては、昨年10月、各地に大きな被害をもたらした台風19号の際には指定避難所として470人あまりの市民が利用した。

### ■施設の概要

「かみす防災アリーナ」は、鉄骨造地下1階、地上2階建て、公式バスケットボールコート3面分のメインアリーナ、同1面分のサブアリーナ、25m×8レーンのプール、トレーニングルーム、そして300人収容の音楽ホール等を有するスポーツ・文化複合施設である。

### ■「いつも」の快適は「もしも」の機能維持へ

平常時は快適で省エネルギーの環境を提供し、災害時は環境維持という2つの機能を担うよう、ハイサイドライトによる自然採光、敷地の風向を活かした自然通風、雨を利用した屋根散水といった自然エネルギーの活用を行い、水やエネルギーの災害時の利用転換（プール水の生活用水への活用、雨水貯留槽を緊急排水槽へ転用する等）を考慮した計画としている。





温水プールの全景。減災を考慮し膜天井を採用。

### ■「もしも」のための「いつも」の仕組み作り

計画段階から防災施設となることを想定しているため、運営・維持管理、学術的な知見も盛り込み実状に沿う、活きた避難マニュアルの作成も行った。また、建設中においても仮囲いを活用した市民とのコミュニケーションや移動家具を使ったワークショップを開催し、市民に愛着を持ってもらう工夫を行った。

かみす防災アリーナは、本年度のグッドデザイン賞、ウッドデザイン賞などを受賞している。従来とかく閉鎖的になりがちだった防災施設が〈軽快で美しいものに仕上がっている〉との評価を受けている。



メインアリーナ内観

### ■「もしも」のときへの備え

かみす防災アリーナには、災害時の備えとして、非常食約18,000食を保管する備蓄倉庫を始め、館内各所に非常用コンセントを設置、また、72時間対応可能な非常用発電機など「もしも」の時のための設備も備えている。

### ■管理運営に関する基本的な考え方

施設の管理・運営は、神栖防災アリーナPFI(株)が行っている。事業コンセプトであるスポーツ・文化の活動で賑わい、市民が憩う地域防災拠点として、次の3つの実

施方針を掲げている。

- 1 スポーツ、健康、文化の活動を促進するサービスの提供
- 2 誰でも気軽に参加しやすい環境を整え、生涯スポーツを定着
- 3 地域スポーツの活性化と交流により笑顔溢れる施設

### ■開設後の状況

6月のオープニングイベントは、5千人以上の市民が訪れ、大いに賑わった。通常営業開始後も、当初の見込みを大幅に上回る市民が訪れ、賑わいをみせ、コミュニティが形成されつつある。

今後も市民が集う場所としてさまざまな取組を行い、「もしものときも、いつものところへ」をキーワードに、市民の健康づくりとスポーツ・文化活動の拠点施設として、役割を果たしていく。



音楽ホール



カフェテリア



1階中央エントランスから

### 〈施設概要〉

施設名／かみす防災アリーナ  
所在地／神栖市木崎1219-7  
施工・運営・維持管理／神栖防災アリーナPFI(株)  
設計／清水建設・梓設計JV  
監理／(株)梓設計  
建築面積／1万3891.97㎡  
延床面積／2万145.47㎡  
施設整備費／約117億9,800万円  
運営維持管理費(15年間)／約50億6,000万円  
工期／平成29年5月～平成31年3月

### 〈施設HPのURL(2次元コード)〉

